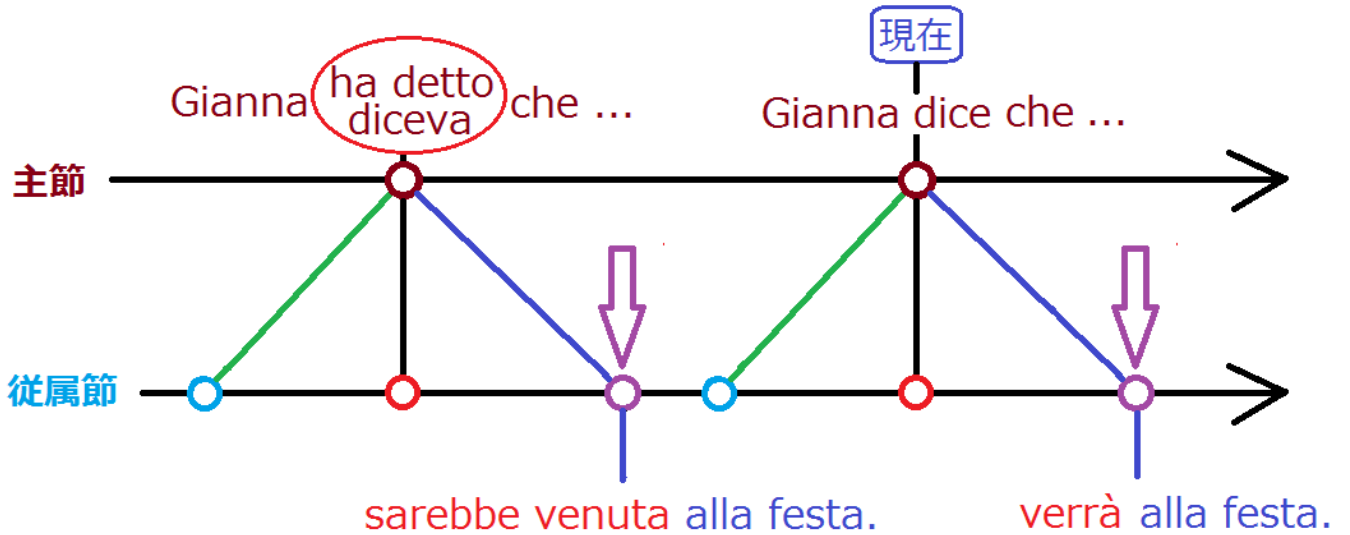
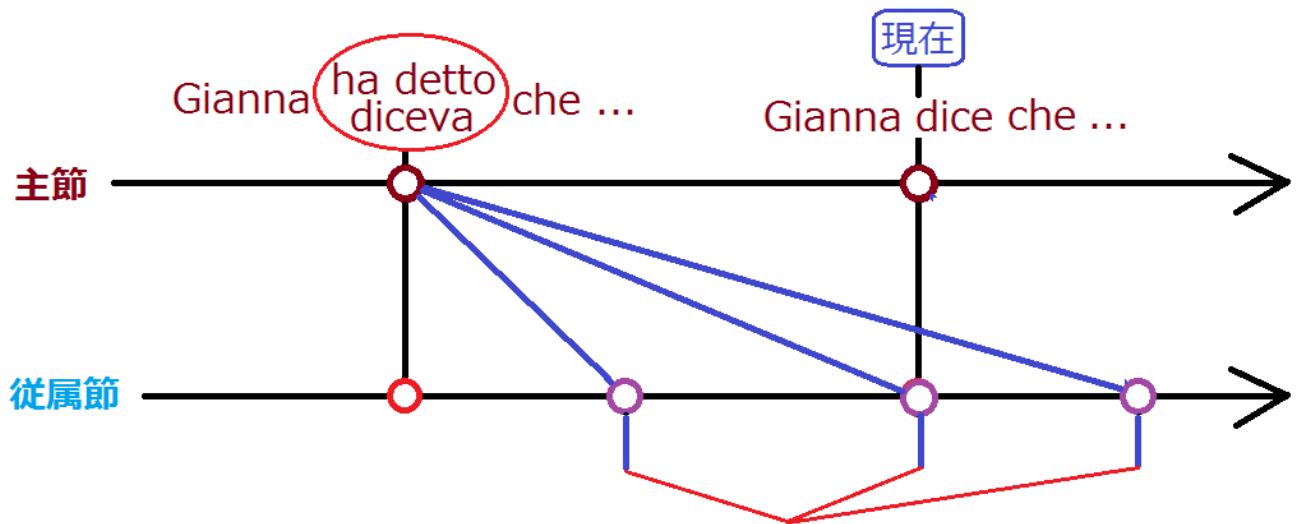


5. 条件法 ④ 過去における未来 ほか

「4. 時制の一致 ②」のレッスンの中で後回しにすることをお断りした《過去未来》は、**条件法過去**によって表現される。



- 過去において予告された内容と現時点との間には関係が無いので、「過去における未来」であれば常に条件法過去を使えばよいが・・・



これらいずれのケースでも
sarebbe venuta alla festa. で OK !

・・・日常の会話においては、それが現時点や未来のことである場合、そのままの時制 **viene, verrà, etc.** も使われている実態があり、あまり厳格に考える必要はない。